

# あぐり情報

営農生活課  
森永 諭



## ◎秋冬野菜の準備に向け

8月に入り暑い日が続いていきます。これからの季節は、夏野菜の収穫も終わり、秋冬野菜に向けた準備を始める方も多いと思います。今回のあぐり情報では、秋冬野菜に使用できる農薬情報と台風対策についてお伝えします。

### ○パレード20フロアブルの登録内容変更(適用拡大)について

キャベツとはくさいにつきまして、散布以外の使用方法として、育苗期間での灌注ができるようになります。主に菌核病に効果がありません。倍率は100倍で、育苗期後半から定植当日まで使用できます。パレードの成分であるピラジ

フルミドを含む農薬の総使用回数は3回以内となっておりますが、灌注は1回までしかできないので使用の際には、注意してください。パレードの新たな適用表も下に掲載させていただきます。



### 【パレード20フロアブル】

規格…250ml  
価格…6,061円  
(2020年7月1日現在)

### ※農薬使用上の注意

農薬を使用する際は容器などに記載されたラベルの内容に従って正しく使用しましょう。農薬システムの使用回数に注意し、ローテーション防除を心がけましょう。

作物名	適用病害虫名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラジフルミドを含む農薬の総使用回数					
あずき いんげんまめ 豆類(未成熟)	菌核病、灰色かび病	2000~4000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内					
トマト・ミニトマト	灰色かび病、葉かび病、うどんこ病、菌核病 すすかび病	2000倍										
なす	灰色かび病、すすかび病、菌核病、うどんこ病	2000~4000倍										
きゅうり	灰色かび病、菌核病、うどんこ病、褐斑病											
（か）うり	うどんこ病											
すいか	菌核病、うどんこ病、菌核病											
メロン	つる枯病、うどんこ病、菌核病											
はくさい	黒斑病、日斑病											
キャベツ	菌核病	100倍						セル成型育苗トレイ1箱 または、ペーパーポット1冊 (約30×80cm、使用土壌 約1.5~4L)当たり0.5L	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回以内)
ブロッコリー	菌核病 すすかび病	2000~4000倍 2000倍						100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
レタス 非結球レタス	菌核病、灰色かび病、すす枯病 菌核病	2000~4000倍 100倍	セル成型育苗トレイ1箱 または、ペーパーポット1冊 (約30×80cm、使用土壌 約1.5~4L)当たり0.5L	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回以内)					
たまねぎ	灰色かび病、灰色腐敗病、小菌核病	2000~4000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内					
ねぎ	黒斑病、葉枯病、小菌核腐敗病 さび病、黒腐菌核病	2000倍										
いちご	うどんこ病、灰色かび病	2000~4000倍										
ピーマン	うどんこ病、灰色かび病黒枯病											
きく	白さび病 うどんこ病											
ばら	うどんこ病、黒星病	4000倍	発病初期									
花き類・観葉植物 (ばら、きくを除く)	うどんこ病											

2020/1/15現在の登録内容

【全体運】 ハッピング含みの運勢ですがうれしいどっきりも。シマツタと思ったらすぐに訂正、謝罪を。丸く収まるはず  
【健康運】 金魚や風鈴を眺めて涼を取りましょう  
【幸運の食べ物】 トマト



### ◎台風対策について

昨年は9月8日に台風15号が、その後10月12日に台風19号が千葉県を直撃したことで県内でも多くの被害が出ました。とうかつ中央管内でもパイプハウス等の施設の被害がありました。

ここ数年、天候が不安定な状態が続いているので、台風が多く発生する前からハウスの見回りをするなど台風に対する備えをしつかりと行いましょう。

#### ○台風接近前までに行う事前対策

- (1) 戸締り、補強等の対策（温室・ハウス共通）
  - ① 台風が接近してきたら、よく見回って、戸締まり。をしつかりと行う。
  - ② 天窓、換気扇、出入り口など外部と通じている部分はしっかりと固定する。
  - (2) 飛来物等への対策（温室・ハウス共通）
    - ① 風に飛ばされたものが、ハウスに当たって破損する場合も多いので、施設の周囲はよく整理し、風に飛ばされやすいものは片づけておく。
  - (3) 強風への対応（パイプハウス等）
    - ① 連棟ハウスの外側の棟は、特に筋交いを入れ補強したりする。特に、風上側となるハウスは、浮き上がり防止のアンカーや外部補強金具を用いて、肩の部分の補強を行うしておく。
    - ② 妻部に近い部分と側面部の風当たりの強い部分には寒冷紗などを張っておく。（緩んでいる場合には、しっかりと締めしておく）
    - ③ マイカー線使用のハウスは、締め付けを十分にし、時々点検し増締めを行う。
    - ④ 差し込み型の小型ハウスのマイカー線は、必ず土際まで下げ、抜けたり、はずれたりしないように十分に固定しておく。
    - ⑤ 出入り口の扉を点検し、強風で外れないようにしっかりと固定する。
    - ⑥ 側面部分は被覆材がめくれないように、パッカー等で固定する。

